



～ 志をもち 郷土を誇りに思い 郷土の誇りとなる ～
「自己有用感(人、社会の役に立つ)」「自己肯定感(やればできる)」の高揚

第2学期始業式(8/25)

五島市では、本年度から正式に8月25日から第2学期と定められ、始業式を実施しました。夏休みが1週間程度短くなり、子どもたちにとっては物足りなく感じた夏休みであったかもしれませんが、多くの行事が重なる2学期に、少しでも子どもたちに余裕を持たせて学校生活を送れるよう、今後日課の工夫に取り組んでいきます。

さて、始業式では期待することとして「多くの行事の中で、一人一人が輝いていくこと」「3年生は、学習に対する姿勢も含め、後輩の模範として、誇りを持って学校生活を送ること」「1, 2年生は、3年生の姿から大切なことを学び取っていくこと」の3つを挙げました。

1学期の学校評価では、郷土愛などの面は高い評価が多くありましたが、学習に対する意識、生活リズムは、課題が大きいことが改めて分かりました。これにはメディアの利用が大きく関わっています。子どもたちの未来を少しでも保障してあげるためにも、ご家庭でのご協力は不可欠です。ぜひ、メディアの利用について話し合ってください。

新しいALT ジョシュ先生

前任のショーン先生が7月末でのご退任され、後任としてジョシュ先生に勤務していただくこととなりました。アメリカのシカゴの出身の22歳です。少しお話をしましたが、日本語で話そうとされ、そして校長の下手くそな英語でも一生懸命に聞いてくれます。

五島に来たばかりで、不安なこと、分からないことも多くあると思います。見かけたときは、気軽に声をかけていただければ幸いです。よろしくお願いします。



三井楽夏祭り(8/12)

前日までの風雨で、開催が不安視される中ではありましたが、好天に恵まれ参加することができました。保育園や小学生のあとでプレッシャーもかかる中、体育大会で披露した「デンマーク体操」は、互いにスペースを工夫しながら動いていました。「うまくできなかつた」と悔しがったり「頑張った」と充実感を得たりとそれぞれの感想がありました。



また、その後サプライズで3年生有志9名による「CUTIE STREET」の”かわいいだけじゃだめですか?”が披露され、普段の学校生活とのギャップに、私も大変楽しく見せていただきました。「地域を笑顔に」という思いが伝わる時間でした。

平和祈念集会(8/9)

長崎に原子爆弾が投下され80年の歳月がたちました。被爆体験者の方々も徐々に減少し、「1945年8月9日11時2分」に起きた筆舌にしがたい凄惨な出来事を、私たちは長崎県民として後世に伝えていく義務があります。しかしながら、平和祈念集会実行委員の皆さんが事前アンケートを実施した結果、原爆が投下された日時さえ正確に知らない子どもたちが(本校は約半数)増えてきていることが分かりました。平和学習の内容が原爆のことだけを学ぶものではないのですが、8月9日を登校日としている意義をもっと伝えていく必要性を痛感しています。



「何があろうと、人の命を奪うことをしてはいけない。」また、「互いにわかり合おうとする気持ちを持つことが大切。」このことを子どもたちに伝えていきます。